



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 名

上場会社名 大成株式会社

コード番号 4649 URL <http://www.taisei-bm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 憲司

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 中島 武久

TEL 052-242-3223

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	5,428	8.8	79	—	96	223.9	50	299.9
28年3月期第1四半期	4,989	6.2	2	△90.3	29	△31.6	12	△41.4

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △39百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 101百万円 (95.1%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期第1四半期	10.05	—	—	—
28年3月期第1四半期	2.51	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	
29年3月期第1四半期	11,841	—	7,793	—	65.8
28年3月期	11,330	—	7,883	—	69.6

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 7,793百万円 28年3月期 7,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	10,660	8.1	72	61.1	110	14.0	49	△43.7	9.73
通期	21,270	4.9	200	507.6	270	139.4	130	84.7	25.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	5,369,671 株	28年3月期	5,369,671 株
29年3月期1Q	334,062 株	28年3月期	334,062 株
29年3月期1Q	5,035,609 株	28年3月期1Q	5,035,609 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、ビルメンテナンス事業につきましては、売上面ではここ数年続いていたホテルの高稼働が若干弱含んだものの、いくつかの新規物件の受託と前連結会計年度に獲得した物件が期初から寄与し、連結売上高は54億28百万円（前年同四半期比8.8%増）と堅調に推移しました。

利益面におきましても引き続き労働力不足の厳しい経営環境下ではありましたが、既存物件の生産性向上が利益率に顕著に表れ、営業利益は79百万円（前年同四半期は2百万円）、経常利益96百万円（同223.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益50百万円（同299.9%増）となりました。

また、当年度はこれまで準備してまいりましたベトナムからの技能実習生受け入れの初年度となります。受け入れ時期は第3四半期以降となる予定ですが、慢性化する労働力不足への対応の一つとして取り組んでまいります。

ビルメンテナンス事業

（クリーン業務）

クリーン業務につきましては、前連結会計年度の第3四半期に獲得した香港のRazor Glory Building Maintenance社が期初から寄与したことに加え、前連結会計年度に獲得した新規物件の上積みも大きく、売上高は28億57百万円（前年同四半期比10.2%増）、営業利益は3億71百万円（同17.1%増）と増収増益となりました。

（設備管理業務）

設備管理業務につきましては、前年獲得物件の寄与と積極的な提案活動による随時売上の獲得が順調に伸び、売上高は11億26百万円（同13.8%増）となりました。利益面では前年第1四半期の収益圧迫要因となった新規物件のイニシャルコスト（募集費、教育費、引継ぎコスト等）の発生がなく、また既存物件の収益性改善も進み、営業利益は28百万円（前年同四半期は6百万円の営業損失）となりました。

（セキュリティ業務）

セキュリティ業務につきましては、一部に減額等が発生したものの、名古屋地区における新規物件および随時売上の増加により売上高は7億10百万円（前年同四半期比3.2%増）、営業利益は49百万円（同17.8%増）となりました。

従いまして、ビルメンテナンス部門の売上高は46億95百万円（同9.9%増）となり、営業利益は4億49百万円（同27.7%増）となりました。

リニューアル工事業

リニューアル工事業につきましては、引き続き安定した受注環境で推移しておりますが、第1四半期中の完工高が前年比較では減少し、売上高は5億31百万円（同6.7%減）、営業利益は34百万円（同7.9%減）となりました。

不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業につきましては、新たに2件の指定管理者物件を受託した事に加え、当社2基目となるメガソーラー（愛知県新城市）の発電がスタートし、売上高は2億1百万円（同36.0%増）、営業利益は1百万円（同11.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産118億41百万円（前連結会計年度末比5億10百万円増）、負債の部は40億47百万円（同6億円増）となり、純資産の部は、77億93百万円（同89百万円減）となりました。

資産の部の増加要因は、有形固定資産として当期より発電を開始しました新城市のメガソーラー設備を計上したことと「現金及び預金」が増加したことによるものであります。

また負債の部の増加要因は、翌月に支給予定である賞与資金の調達により「短期借入金」が増加いたしました。そして純資産の部の主な減少要因は、「その他有価証券評価差額金」が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期の業績予想に対する進捗率は、売上高は50.9%、営業利益は109.8%、経常利益は87.3%、親会社株主に帰属する四半期純利益は103.3%となりました。

利益面におきましては既に第2四半期の予想水準に到達しておりますが、当期におきましては主な新規物件のスタートが第2四半期以降に予定されているため、それに伴うイニシャルコスト（募集費、教育費、引継ぎコスト等）の発生が見込まれ、不透明な要素を含んでおります。

現時点におきましては、平成28年5月12日公表の業績予想を据え置きとさせていただきます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,655,205	1,809,048
受取手形及び売掛金	2,316,339	2,435,793
有価証券	120,489	118,232
商品及び製品	7,713	8,103
原材料及び貯蔵品	42,539	40,044
繰延税金資産	97,093	151,506
その他	46,629	88,734
貸倒引当金	△1,225	△846
流動資産合計	4,284,784	4,650,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,212,363	2,265,951
減価償却累計額	△1,417,488	△1,435,237
建物及び構築物(純額)	794,874	830,713
機械装置及び運搬具	777,156	1,080,374
減価償却累計額	△444,458	△464,639
機械装置及び運搬具(純額)	332,698	615,735
工具、器具及び備品	402,670	403,674
減価償却累計額	△308,519	△314,823
工具、器具及び備品(純額)	94,151	88,851
土地	1,279,950	1,279,950
リース資産	10,620	10,620
減価償却累計額	△6,372	△6,903
リース資産(純額)	4,248	3,717
建設仮勘定	140,532	28,858
有形固定資産合計	2,646,455	2,847,826
無形固定資産		
のれん	97,112	86,408
ソフトウェア仮勘定	—	4,568
その他	86,236	100,335
無形固定資産合計	183,349	191,313
投資その他の資産		
投資有価証券	2,432,477	2,355,451
差入保証金	264,192	250,095
退職積立資産	1,147,835	1,149,569
保険積立資産	107,112	106,531
ゴルフ会員権	154,558	154,558
繰延税金資産	19,819	40,356
その他	117,371	122,279
貸倒引当金	△27,435	△27,435
投資その他の資産合計	4,215,932	4,151,407
固定資産合計	7,045,737	7,190,547
資産合計	11,330,521	11,841,164

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	664,672	663,083
短期借入金	100,000	340,000
1年内返済予定の長期借入金	33,329	54,996
リース債務	2,124	2,124
未払金	17,529	10,251
未払費用	152,706	199,622
未払給与	910,948	901,073
未払法人税等	150,206	118,663
未払消費税等	207,206	229,168
賞与引当金	233,664	410,366
その他	115,631	119,883
流動負債合計	2,588,019	3,049,232
固定負債		
長期借入金	291,674	461,259
長期未払金	37,650	35,767
リース債務	2,124	1,593
預り保証金	28,696	28,696
退職給付に係る負債	213,473	200,714
役員退職慰労引当金	269,259	270,511
繰延税金負債	16,264	—
固定負債合計	859,142	998,542
負債合計	3,447,161	4,047,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,300	822,300
資本剰余金	878,137	878,137
利益剰余金	6,325,512	6,325,754
自己株式	△314,545	△314,545
株主資本合計	7,711,404	7,711,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,887	110,379
為替換算調整勘定	△11,932	△28,637
その他の包括利益累計額合計	171,955	81,742
純資産合計	7,883,359	7,793,388
負債純資産合計	11,330,521	11,841,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,989,933	5,428,133
売上原価	4,430,372	4,743,569
売上総利益	559,561	684,564
販売費及び一般管理費		
役員報酬	43,029	47,634
給料	206,101	216,170
賞与引当金繰入額	37,804	42,528
役員退職慰労引当金繰入額	4,861	5,108
退職給付費用	5,219	6,352
賃借料	39,020	41,868
減価償却費	17,267	22,796
のれん償却額	—	2,364
保険料	27,419	27,054
その他	176,609	193,640
販売費及び一般管理費合計	557,331	605,518
営業利益	2,230	79,046
営業外収益		
受取利息	3,487	3,135
受取配当金	23,404	16,420
受取手数料	3,390	3,287
貸倒引当金戻入額	—	403
持分法による投資利益	2,303	1,665
その他	791	1,313
営業外収益合計	33,377	26,226
営業外費用		
支払利息	557	602
支払手数料	1,246	1,556
為替差損	—	3,305
障害者雇用納付金	4,150	3,750
営業外費用合計	5,954	9,214
経常利益	29,653	96,058
特別利益		
固定資産売却益	825	—
投資有価証券売却益	18	490
投資有価証券評価益	3,314	—
受取保険金	—	372
特別利益合計	4,158	862
特別損失		
固定資産除売却損	1,030	0
投資有価証券売却損	—	10
投資有価証券評価損	—	6,065
特別損失合計	1,030	6,075
税金等調整前四半期純利益	32,781	90,846
法人税、住民税及び事業税	90,931	99,299
法人税等調整額	△70,803	△59,051
法人税等合計	20,127	40,248
四半期純利益	12,653	50,597
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,653	50,597

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	12,653	50,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89,111	△73,507
為替換算調整勘定	—	△16,704
その他の包括利益合計	89,111	△90,212
四半期包括利益	101,764	△39,614
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,764	△39,614

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューアル 工事業務	不動産ソリュ ーション業務		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,593,026	990,049	688,791	570,285	147,781	—	4,989,933
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,593,026	990,049	688,791	570,285	147,781	—	4,989,933
セグメント利益 又は損失(△)	317,732	△6,990	41,624	37,823	1,610	△389,569	2,230

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△389,569千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューアル 工事業務	不動産ソリュ ーション業務		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,857,513	1,126,748	710,882	531,980	201,009	—	5,428,133
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,857,513	1,126,748	710,882	531,980	201,009	—	5,428,133
セグメント利益	371,952	28,992	49,047	34,851	1,797	△407,595	79,046

(注) 1. セグメント利益の調整額△407,595千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。